

## 軽快なトークとハーモニカ演奏で まわりを笑顔にする鈴木務夫さん

休憩をとってください



▲ 鈴木務夫さん

92歳の鈴木務夫(かねお)さんは、軽快なトークとハーモニカ演奏で周りを笑顔にしています。演奏の多い月は、20ヶ所ほど地域のデイサービスなどに出かけることもあります。

演奏を楽しみしているデイサービスの職員もあたたかく迎えてくれます。職員からは、「15分毎に休憩をとってください」と言われていますが、鈴木さんのトークやハーモニカ演奏が始まると、デイサービスに来ている人たちが夢中になり、休憩の回数も少なくなるそうです。

### ユーモアがいっぱい

あるとき、お礼の謝金の話になった時に、「お礼は、いくらぐらいでしょうか?」に対して、「100万円ぐらいかな?!お金はいくらあってもいいから」とユーモアたっぷりに返したそうです。また、ハーモニカ演奏の終わった鈴木さんに、「先生はお若いから」と言われたそうです。その相手の年齢を聞き「私より10歳も若いんじゃないありませんか」と応えたそうです。それを聞いた相手は、また、びっくりしたそうです。

鈴木さんはどこへ行っても人気者で、次回の演奏日を伝えると大勢の人が集まり過ぎてしまうので、次回の演奏日をあえて伝えていないそうです。

演奏を聴いた人たちは、「家にいても一人なので、鈴木さんの演奏を楽しみにしている」「楽しい話とハーモニカの演奏を聴き、大勢の人が集まるので話し相手もでき、会話のできるのがうれしい」と話します。

鈴木さんは、演奏を聴いてくれる人とトークをしたり冗談を言ったりすることを楽しみに、20種類以上のハーモニカと譜面台の入った10キログラム以上のリュックサックを背負って、デイサービスなどへ行くことを楽しみにしています。



▲ 20種類のハーモニカ

### ハーモニカとの出会い

鈴木さんがハーモニカと出会ったのは、70代半ばで「いこいシルバーハーモニカバンド」の演奏を聴いたのがきっかけでした。

同じ年代の人たちが真剣に演奏している姿に感動し、早

速バンドに入りました。何事も熱心に取り組む鈴木さんですので、めきめきと腕をあげ、ハーモニカで演奏できる曲もどんどん増えていきました。



▲ いこいシルバーハーモニカバンド

### 万能手帳

鈴木さんの持っている手帳には、いろいろな情報が詰まっています。「ハーモニカ演奏記録」には、演奏日と演奏場所がびっしりと記されています。



▲ ハーモニカ演奏記録

時事についても情報を集めており、トークで使えるフレーズを手書きでまとめています。

「家族間の事件にかんがみる」には、

- ・大人にとって、良い子はろくな人間にならぬ
- ・他人の家族との比較は諸悪の根源
- ・遺産を残しても良いことは一つもない
- ・家族の期待は最悪のプレッシャー 等々

「シルバー川柳」には、

- ・手をつなぐ昔はデート今介護
- ・名が出ない、アレ、コレ、ソレ、で用を足す
- ・「こないだ」と50年前の話する
- ・起きたけど寝るまで特に用もなし
- ・3時間待って病名加齢です 等々

鈴木さんがいつまでも元気な理由の一つは、小まめに記録を取ったり、トークの内容をいつも考えたりすることだと思いました。他にも、コインの収集や新聞の切り抜きを見せていただきました。

### ないものは自分でつくる

1947年に富士電機に入社、設計を専門にエンジニア統括責任者として社員を束ねていました。日本だけでなく海外への単身出張も多いため、1ページに2ヶ国を目安として「言語・通貨・衛生・気候」など項目分けして86ヶ国の概要を「海外出張マニュアル」として冊子にしました。当時は、あまり資料もなかったため、「ないものは自分でつくる」ということをモットーにしていました。

### マージャンの指導

ハーモニカ演奏の他に、鈴木さんは週3回9時から12時まで「川崎区のいこいの家」、他に月2回9時30分から16時30分まで、近隣で健康マージャンの指導もしています。

■ 問合せ 鈴木 務夫さん 044-599-0645